

ドローンを活用した県・市・民間合同訓練実施計画

1 目的

地震時等における土砂災害の発生を想定し、神奈川県、小田原市、特定非営利活動法人クライシスマップーズ・ジャパン、小田原ドライビングスクール、株式会社エムテックスと訓練を通して連携強化を図り、災害時におけるドローンの有効性の検証及び対応能力の向上を目的とする。

2 日時

令和2年（2020年）5月22日（金）午前9時から午後4時まで
※雨天・荒天・強風等の場合、延期

3 訓練場所

小田原市役所 防災対策課 情報処理室
酒匂川 報徳橋下流側河川敷
小田原市久野地内 久野林道等及び「塔ノ峰青少年の家」跡地

4 参加機関

- (1) 神奈川県 未来創生課、災害対策課
- (2) 小田原市 防災対策課
- (3) 特定非営利活動法人クライシスマップーズ・ジャパン
(訓練前半で市域の空撮を行い、マッピングしたデータを市へ提供するまでを行う。)
- (4) 小田原ドライビングスクール
(訓練後半で小田原市に提供されたデータから判明する土砂災害現場への人命救助のための情報収集を行う。)
- (5) 株式会社エムテックス
(訓練後半で小田原市に提供されたデータから判明する土砂災害現場への人命救助のための情報収集を行う。)

5 訓練想定

地震発生後に関係機関が参集し、特定非営利活動法人クライシスマップーズ・ジャパンにより小田原市内（鬼柳・桑原・木工団地地区）を固定翼ドローン等にて空撮、マッピング及び情報共有を行い、土砂災害の発生を確認する。

その後、回転翼ドローンを持参のうえ土砂災害現場に参集し、株式会社エムテックス等により救出想定現場（「塔の峰青少年の家」跡地）まで回転翼ドローンを飛ばし、生存者の確認、避難指示までを行う。

今回は、訓練終了までの情報共有内容の確認及び訓練時間の実測を主な目的とする。

6 訓練重点項目

- (1) 関係者の役割分担
- (2) 情報伝達方法の確立
- (3) 各セクションの所要時間の把握

7 留意事項

- (1) 訓練会場への車両の進入にあつては、現場までの経路が狭隘であるため、進入車両については留意すること。
- (2) 他機関との連携訓練となるため、現場活動を円滑に実施できるよう調整を図り訓練を実施すること。
- (3) 特にドローンの飛行に関しては安全に配慮した活動に努めること。